

★へんなページ

すっかりだめになっただぼく

向井修 二ハイメージプロデューサー

朝からすこしは寒い小雨の降る日だった。

朝早くから久美子の電話があり「少し相談があるの」またいつもの誘い方だと思いがらも、しぶしぶオリエンタルホテルのロビーへ、出かけた。

エナメル赤のレインコートを着ている彼女だが、少し歳をとった感じだ……。すでに彼女は部屋を予約していた。……シャワーのぬくもりがいやに淋しく感じた、彼女は大変楽しげだったが、いつまでも変らぬ女だと思いつつも、ふと、去年の冬のこのホテルでの出来事を思い出していた。

あの恵美は、僕の友人の奥さんになっているけれど、あれほどまでにおれのことを追いかけてまわっていたくせに今では、すまして彼に抱かれていと思うと、なんとなくなにがしい思いにふけていた。

突然シャワールームに彼女が入ってきて、彼女のいうには「結婚しなければならぬの」「でもあなたとは、結ばれそうにないわね」そういうながら彼女はシャワーの中に入ってきた。

やっと解放された僕は、ホテルを出て、街角に立った時赤いマーク2に乗った女が急に車をとめた。その女をよく見れば、六甲に住む貿易商の娘で、わがままなやつだ。誘われるままに車に乗ると、女に珍らしく大胆なハンドルさばきでおれを六甲山上まで連れ上がった。彼女は何にもいわず僕を……だった。僕は逃げ出したい気持ちで彼女を市内の小さなスナックへ連れていくと、なんとそのスナックのママが、昔、東京で遊んだ女で、おれを見るなり彼女は「あんまりだわ」と言いながら近づいてきた。その時の女の顔の恐ろしさはたとえようがない。しかし、おれの手小さな紙切れを手渡したが、開けてみると、彼女の電話番号ではないか、あまりにも女のいやらしさに僕はいやげがさした。ほうほうのていで僕がスナックをとおび出すと、後には、女の追いかけてくる様子もなく、中で女の口論がかすかに聞えてきたが、私は加納町の角を曲って、バッタリ会った女が悦子だった。あまりにあかぬけして気が付かなかったけれど、あるコンサートで知りあった、あの可憐な女の子がこんなに変わったかと思いつつただ肩を並べて歩き出し



こんな毎日が続くのか……

た。おれはいやだったが、小さなホテルからやっと解放された。

やっとの思いで、よく行くスナックへ入ると、そこにはまた、明美・知子・幸子と、それぞれ思い出のある女がいるではないか。どうして彼女達が友人になったのだろうと、少々恐ろしく感じながらその場を逃げ出した。

トアロードを下りてくると、ふと泣いている女がいるのに気づいた、その美しい姿に
 つい声をかけてしまった。顔をあげた彼女は、またよく知っている育子であった。誘わ
 れるまま彼女の小じんまりとしたマンションにたどりついたと同時に彼女は、ひょうへ
 んして僕におそいかかった。僕は恐ろしさの余り、なされるがままにしていたが彼女は
 よほど淋しかったのだろう。

もうたくさんだと思ってマンションに帰って見るとなんと、有子が僕のベットで一人
 寝ていた。もうたくさんだと思いながら、彼女のなすがままに一夜を過した。こんな毎
 日が続くのかと思いつながら、僕はもうすっかりだめになってしまった……。

△終り▽



ETSU

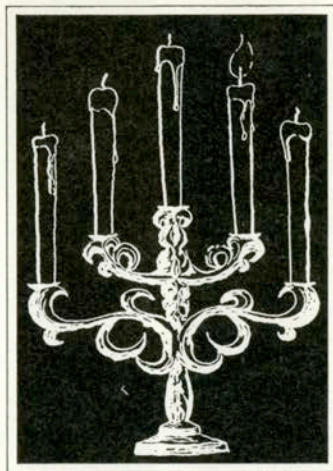
お気軽にお越しくださいませ

スタンド

勢津

神戸生田東門筋 ゼウス街 ☎078(39)0516

クラブジャルダンは
 可愛い花でいっぱいです
 花に囲まれて飲む酒
 楽しいひとときは
 ジャルダンならではの……。
 ジャルダンは、あなたの
 いこいの場です



CLUB

ジャルダン

神戸市生田区中山手通1丁目111

岩戸秀能

TEL.33-8589

クラブ
ガーデニア

生田区中山手1-114(東門筋)
 中島ビル2F TEL39-3329

DRINKING

スタンド

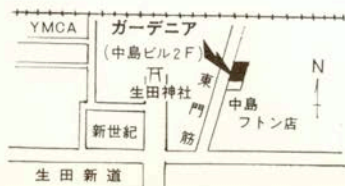
娑羅 (さら)

生田区中山手1-91 TEL39-1647

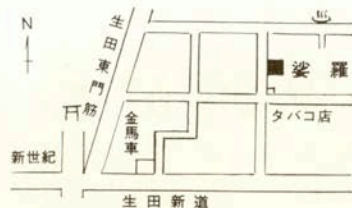


“ガーデニア”は、くちなしの花。この花の季節になると、あの、なんともいえない香りが、やさしく店内を包んでくれる。

ママの松下昭子さんは、丸6年間、ムーンライトにいて、行き届いたマナーを身につけた人。北野町で生まれ、北野町で育った生粋の神戸っ子。店内は、濃い茶系統に統一、白壁が上品で、オーソドックスな風格をそなえている。客層も、ママさんの人柄や、店の雰囲気から、年配客が多いのもなずける。ドッシリしたカウンターに片ヒジをつき、静かにグラスをかたむけるもよし、ママさんと大いに大人の会話を楽しむもまたよし……。付出しには、洋酒に合った木の実ははじめ、ケイ子さんが、毎日変わる自慢の味を提供してくれる。オールド¥400



“もののおわれ”を静かに味わい人の命を深く考え知り、心静かにやすらぎいこう。そして雄たく生き抜かんとする人間の智慧を深く感じせしめる樹……娑羅双樹の娑羅から引用。そして、元ブルーリボンにいたママの田中淳子さんの好きな寒椿に似た白い花を咲かせる。そんなお店にと額いを込めてこの10月にオープンした。広々とした店内は清楚な感じにと白っぽい色に統一、そして落ち着いたクラシックムード。特に巾広いカウンターには、手前に皮クッションが付いており、ヒジをつけて娑羅双樹の下で内に智と雄を秘め、人生を感じつつ、カウンター内のヤッちゃん、ヨッチちゃん、マスターの真崎さんを相手に大いに酒を楽しむ。二人で千円札二枚もあればけっこう楽しめる。





より高い精度を
 実現した
 高振動自動巻腕時計
 ロンジン「ウルトラクロン」



特約店

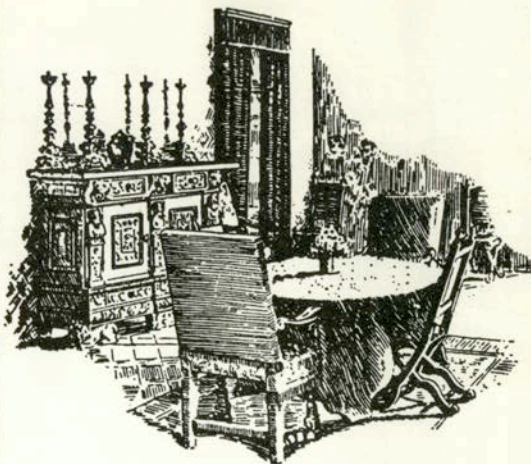


美和時計店

元町店・元町三丁目 TEL33-1798

三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL33-8798

家具・室内装飾・工芸品



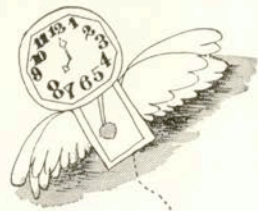
永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目大丸前 TEL神戸(39)3737(代表)

東京店・東急百貨店 {日本橋店内1階 TEL 03 (211) 0511
 本店(渋谷)7階 TEL 03 (462) 3180

工場・神戸市垂水区多聞町小東山975ノ35
 神戸木工センター TEL 078 (76) 5005(代)

神戸百店会 だより



★ベニヤ三宮店開く

三宮センター街、婦人服飾店「ベニヤ」が11月25日、ニチイ2Fに「ヤングポケット・ベニヤ」をオープン。約25坪の広々とした店内は、白と黒を主にしたインテリア。ハイカジュアルな商品を中心に、ヤングミセスにいたる広範囲を対象として、今までの専門店をより一層個性的にしたヤングブティックである。日本のトップクラスのハイカジュアルメーカーがせいぞろいしている。

★「あきら」で メーキャップの講習会



あきら「メーキャップ講習会

十月二〇日午後一時から三時まで中山手の「ブルーあきら」で、東京からメー

キャップ師山田高裕さんを招いての講習会が行なわれた。ヘヤーにプラスして、メーキャップのもつていき方でも、こんなにも美しくなります。殊に眉毛のカットで、顔のイメージが随分と違ってくるということ。より美しくなりたい……というのは女性ならば誰でも変わることのない願い。

「あきら」の会々員の約三〇人の女性たちが集まって熱心に美へのアプローチのひとつときをすごした。

★ラウンドショップ神戸 冬のパーゲンセール

恒例の「ラウンドショップ神戸」冬のパーゲンセールが12月2・3日の2日間、三宮ビル10Fにて（AM10時～PM6時）開かれる。参加するのは、ネクタイの元町バザー、紳士・婦人靴のヨシオカ、ハンドバッグのシラサ、パラルル・ショールのオカダ、呉服のみよしや、洋服の津渡辺、婦人服のエスターニユートン、以上七店。一流品を安く買えるということで毎回

好評を得てきたが、今回の冬のパーゲンセールも多くの人が集まることだろう。

★オリエンタルホテルで
春の「サノヘショー」
十月二十、二十一日、オリエンタルホテル二階パライメントの間で、舶来お洒落用品専門店の「サノヘ」の一九七〇年春、夏のフランスコレクションのショーが開かれた。



サノヘのショー風景

このショーは、今迄の展示即売会とは趣きを異にしていて、フランスのサロン風な、受注、即売システム。静かなミュージックの流

れる中、モデルさんが次々と着て現われるコート、ワンピース、スーツはニット製品が殆んどで、美しい線と着やすいデザインのもの。ヨーロッパ逸品ぞろい。このショーでオーダーすると、来年のEXPO'70開催の春、パリから注文品が直送される。

★きもの細貨のちんがら屋の福武花子さんが今回、11月21日、東京で、中小企業庁の長官賞を優良従業員として表彰されました。

★ショップトビックス

★アロードの「クロス」がTVの背景になりました。関西TVで放映中の「二つの影」八金曜夜十時半からVに、十二月十九日と二十六日の二回、主役の佐藤友美が共演は、池部良、土屋嘉男など濃い配役。ぜひご覧ください。

★三宮センター街「魔物の山下」では、足が大きくて草履に困っていられるご婦人方のご要望にこたえて、Lサイズ、特大Lサイズを取り揃えました。その他、クリスマス、お正月、成式にふさわしい履物も各種揃ってありますので、ぜひ一度お立ち寄りください。★元町通一丁目「太田べっ甲」が12月、装いも新たにオープンします。ベージュを主にしたシックなインテリア、以前よりもさらに広くなった店舗でお目見えます。ご期待ください。

★おもちの「カメヤ」では、来年正月2日より五日間さんか広場にて、恒例の「第三回おもち大空」を開催します。ゲーム類を中心に各種おもちを展示、即売する予定ですので、お正月には、家族揃ってのお出かけになってはいかがでしょうか。

★さんかタウンを各案共に、日本一のショッピングタウンにしよう、と、流行はさんかから「まぐろ」をスローガンに若手経営者が「まぐろ会」を結成。百貨店メンバーからは、UC上島珈琲店、セリザワ、神戸眼鏡院、美田時計店、カメヤ玩具店、風月堂が参加。世界のショッピングタウンにしよう、と勉強会を開き大いに張り切っています。

ポケットジャーナル



★センター街に

「さんセンター」完成

神戸・三宮センター街にショッピングセンタービル「さんセンター」完成。総工費約二十五億円をかけて造られた「さんセンター」は地下二階、地上七階建て、延べ二万三千二百平方メートルとデパート並みのビル。

同ビルには、地元センター街の洋服店、時計店、菓子店、喫茶店などのほかダイエー、ニチイなど大手業者合わせて二十五店舗が入居している。また、同ビルは今までのセンター街の道路から五メートルもさがっているの道幅も倍近く広がり、カラードロード（有色舗道）になる予定。

★おめでとぅ!!

県の三県受賞決まる

十月十八日、郷土の文化や科学の振興に功績のあった「県文化賞」、「国際文化賞」、「県科学賞」の本年度受賞者が決まった。

「県文化賞」は、西宮神社の宮司のかたわら郷土史

の研究に全力を尽くした吉井良尚氏、今日の書道兵庫を育てあげた深山茂氏、日本画（南画）の水越達也氏

県芸術祭、神戸市民劇場の育ての親である小寺敏氏、灘神戸生活協同組合理事として十六万組合員の生活文化向上に努めた永谷晴子さん、県下邦舞界の発展に努めた泉舞踊協会が受賞。

「国際文化賞」は、本年度直木賞受賞を受け郷土作家としてめざましい活躍をしている異色作家の陳舜臣氏が受賞。「県科学賞」は、酵素蛋白の帰巢性の究明を行なった神大医学部助教教授の若林正雄氏、振動工学を通じて建築技術の合理化、向上に尽くした畑中元弘氏、造船作業の合理化と生産向上をはかるため、多用途電子写真装置設置の新技术を開発した杏木幹雄氏と池上吉蔵氏が受賞した。

★召しませ

神戸のりんご

「神戸のりんごができるやて? ホンマカイナ!」

ホント、ホント。神戸市

舞子町、明舞団地のすぐそばの二千坪の土地に、りんごの木が百本。ピンク色の初々しい実をいっぱい実らせている。

これは関西りんごの大和園といって、京都、奈良、箕面そして神戸の京阪神で栽培して、樹の上で成熟したものをすぐ採集して、新鮮な、美味しいうりんごを食べさせようと始まったもの

神戸の舞子園は、並河さん（二年前に他界・化学者としても高名）が、雪の青森で成熟したりんごを食べた美味さが忘れられず、関西でもやれぬことはないという舞子に土地を見つけて昭和二十六年に、アメリカンサマーペアーメント△梨とリンゴの交種で夏りんご△を作った。三年はかかる花が翌年の末には開き、植樹に成功して、今では一〇種の冬りんごもできる。

並河さんを慕って集ったビジネスマン、学生、酒屋さんなどが、今も同好会グループを作って、この舞子園のりんごを育てている。だから市販はされず、特に注文のある人々に送り、それだけの要望にこたえるのがせい一杯。日曜日には、大阪や神戸の人々が集まり、消毒や草刈り、リンゴをつみなどをやっている。池を埋めて団地ができ、そのせいでリンゴの樹が枯れたそう

誕生日 ありがとう



□「誕生日ありがとう運動」とは百名中三十四名は必ず生まれてくるという精神薄弱児（ちえおくれの子たち）に、正しい理解と愛情を、をモットーにはじまった運動で、誕生日に百円献金していたものです。

□誕生日を有意義に!

昨今、誕生日といえば、友人や家族でお祝い会をもち、もっぱら飲食やプレゼントに焦点があっているようですが、もう少し積極的な意義をもったものに、一年に一度自分が一人の価値あるかけえのない人間として、この世に生をうけ、生命を与えられている意義を新たに、じっくりと考えてみたい。ボランティアの精薄児施設の見学や、施設を訪ねたり、個人的なオリエンテーションなどを行なつて子供達との交流をはかりながら現在心身共に、健康に暮らしていることに対して、日々の生活を反省しようではないか。

□

「誕生日ありがとう運動」への献金の方法は、一〇〇円を住所氏名生年月日を書き添えて事務局へ郵送してください。また古切手集めにもご協力ください。

事務局（神戸市芦屋区小野柄通二の五 青陽養護学校内）

誕生日ありがとう運動事務局

電話 〇一五五九

だ。りんごの団地公害であ
る。

しかし、もぎたてのりん
ごはさわやかな美味しさ。
ご連絡をお取りになりたい
方は輝化学工業KKの吉田
将展さん。△72▽三三四六
まで。

★ドレミファ噴水パレステ
★いいカップル誕生!!

海と山に近接した美しい
自然公園として知られる須
磨浦山上、今夏コンピュ
ーターの操作によるドレミ
ファ噴水パレスの登場で話題
になったこのパレス内で、
10月25日(土)山陽電鉄の
主催で、新郎・佐伯洋(28
歳 椿本チェイン製作所輸
出部勤務)と新婦・森口好
美(21歳)の「ドレミファ
結婚式」が挙行された。



噴水を背景に若いカップル

厳肅なうちにも、希望と
夢を運ぶメンデルスゾーン
の結婚行進曲がパレス内を
静かに流れ、それにつれて
数限りなく変化するドレミ
ファ噴水の色と形が極彩色
の穂先を幻想のように展開
するなかを、ステージ両サ
イドより華やかなスポット

を浴びて新郎新婦が登場。
詩人・竹中郁氏の軽妙で
ウィットに富んだ司会のも
とに、永遠に誓う新郎新婦
の宣誓、指輪交換、花束贈
呈など式は順調に進んでい
った。

友人グループのスピーチ
あり、この日の二人にピッ
タリの新郎新婦の「愛のデ
ュエット」あり、ピアノ、
電子オルガンの伴奏で合唱
するなどはほえましい光景
華麗な電子噴水の乱舞を背
景に二人の新しい門出を祝
うこの式は、終りに近づく
につれ熱を帯び最高潮のう
ちに終わった。

★大学生経営の

ぎょうざの店超満員

神戸は専門店街。この
十月始め、また一軒、ぎょ
うざ専門店「赤満」が登場
国鉄元町駅東口南の細い筋
を下ってすぐ、緑地に赤く
「赤満」と描かれた看板が
目に付く、まだペンキの色
の新しい小さなお店。

ぎょうざ一〇〇円、焼そ
ば一〇〇円、ビール一六〇
円というメニュー。

「巷の豊満経営に對抗し
てみせる」と威勢の良い
タイショウの祭垂統君は神
大の経済学部生。デザイン
部門を担当したのが、武蔵
野美大学生の岩見君。タイ
ショウを中心に活躍する総
勢十五人以上の学生ギョウ
ザマンは平均二一・五歳。
若さあふれた熱気とまだ
セルフサービスを余儀なく



商売繁盛の赤満

されるような素人っぽさが
かえってうけるのか、「安
くてもすごい量があ
っておいしい」というの
がうけるのか、なかなかの
盛況。

黒幕のX氏(?)の資金に
加えて、皆アルバイトして
少しずつ出資したそうだ。
味の方もいろいろな料理屋
へ行って修業してきたとの
こと。

「いづれ企業に拡張した時
は、」と「僕たちの
店」の夢は拡がる。

二階は、学生のコンパな
どに座敷料無しで貸してく
れるそうだ。「黒猫のタン
ゴ」でも聞きながら、老酒
でいっぱいはいかが。

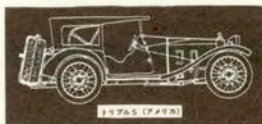
十一時半から十時半まで
★異色四人展開かる

美術の秋といえは、どこ
の画廊も、……展とかでに
ぎわっている。

ここ、十月一日華々しく
増築完成オープンした十合
その六階に設けられた美術
画廊で、網谷義郎、鴨居玲
西村功、松本宏氏の「異色
四人展」が開かれた。

★ドライバームモ

車の
気密性



川口陽之
(自動車評論家)

寒くなってくると、車のドアが
閉りにくくなる。このトラブルは
ドアの金具の不良ではない。新し
い車ほど、車室の気密性がよい。
冬場は窓ガラスを完全に閉めてし
まうと、ドアを閉める際、空気の
逃げ場がなくて、その風圧のため
にドアが閉りにくいのである。こ
んな車(よい車)は、ドアのガラ
スを少しあけておくようにするこ
とである。

カーヒーターをきかしている車
に三、四人乗っていると、よく「
アクビ」が出る。カーヒーターは
車内の空気を循環させて温度を上
げている。せまい室内でたくさん
の人が呼吸すると酸素が不足して
くる。酸素が不足すると、自動的
に大きな呼吸をして、大量の空気
を吸い込もうとする。これが「ア
クビ」である。ということ、カー
ヒーターをかけた時「アクビ」
が出たら、窓を開けるか、ベン
チレーターから新鮮な空気を取
り入れることである。

神戸にゆかりのある四画伯の、個性あふれる20点の作品は、抽象絵画に對して、いわゆる具象陣営に属し、展覽されてゐる絵も、ともに「人間」を主題としたもので、これらの作品に示された対照は、人間性・人間観のちがいを示して、絵を見る人達を魅了させていた。

文字どおり新しい洋画壇の担い手たちだ。また、赤根和生氏（美術評論家）の言葉をかりれば「それぞれ日本の画壇に、新風を吹きこみつつあるユニークな存在である」といっている。

★胸うつ母子の愛情

「流亡の記」出版される昭和十五年八月、夫は社命によって新京ニッケギャラリーへ赴任し、翌年の初夏、私は長女玲子と満一才に足らぬ紀子を連れて朝鮮経由、新京へ向った。

★安居儂子著「流亡の記」

の書き出しはこう始まる。昭和二十年五月、夫（勳氏、現日本毛織総務部長）は、遺髪と一通の遺書、その上に、玲子・紀子・徹・祐子の幼い四人の子供を残して応召し消息を絶つ。この手記は、安居母子があらゆる悪条件の中を必死で生きた苦闘の記録であり昭和二十一年に記されたものだ。

あれから二十余年、著者は二人の娘を嫁がせて平和な家庭を営む主婦であるが在外資産の補償を受けるのすめられて出版を思いつたとのこと。

凍てた大地での母子の生命力は、次の世代に勇敢に受けつがれるべきものである。一読の価値がある。

安居儂子一芦屋市朝日ヶ丘町三三〇—八

た。

それにしてもこの外人たちのなんと楽しそうなる表情、語らぬだろう。お年寄りたちもカラフルなおしゃれを楽しんでいる。

こんな雰囲気をつみかさねのなかからいまの神戸が生れたのであろう。開放的で明るい気質、かなり積極的にハイカラ好きといった神戸文化のパターンまでできあがっていったのだから、

そして、市民文化をもつ日本でただひとつの街なの

★女教師の愛の記録

「こどもと歩く」発刊

神戸市立御影北小学校教師、小崎佳奈子さんの生徒との愛情あふれるエッセイ「こどもと歩く」が発刊された。

三年生から五年生を終えるまでの児童にスポットを当て、現代の子どもの姿を懸命につかもうと努力しているが、著者の求めているものは記録ではない。作品を通じて流れているものは愛であり、人間基本の精神であるといえる。

△甲南出版社発行 四〇〇円▽



「こどもと歩く」

であろう。だが、こんなみごとに伝説もそのままにしておけばまったく色あせてしまいうさだ。

もつまえのパイオニアスピリットを生かして、街のなかにどんどん新しい文化をみちびき消化して神戸文化に厚味を加え、そして神戸だけの文化を大切に育てたい。

これは、神戸っ子の政治家、経済人、商店の人たち文化人いや、神戸の街に住む人たちのつとめなのだ。

△Y▽

★コウベ

ムービーコーナー

「ティファニーで朝食を」

61年に公開され、ロマンチック・コメディの大作として大評判をとった映画である。数多くの秀作を誇るオードリー・ヘプバーンの主演映画のなかでもこの作品は、彼女の個性が百パーセント活かされた最高の当たり役といえよう。



ホリー・ゴライトリー（オードリー・ヘプバーン）は、ニューヨークのフレイトにたどり着き、名前がつかないネコと住んでいた。男女たちが大ぜいいるらしく、アパートにもどってくるとはいていて夜明けごろで、べつに働いているようすはなかった。

ホリーの望みは、ティファニーのようなところに身をまかせ、暮らすことだった。ティファニーはニューヨークの五番街にある有名な宝石店で、ホリーにいねると、ティファニーのようなおちついた静けさにつまれていると、おるいことがおこるはずがないというのだ。

もし、そんなところに身をおく名前をつけること、ホリーはいつもしていた。ある日、ホリーのアパートに、ポール・バリーヤック（ジョージ・ペールド）という青年が越してきた。

監督は「ピンクの豹」「グレート・レース」など、観客を驚かせるテクニクの特長主ブレック・エドワーズ。

●毎月応募ハガキの中から抽選で十名様を試写会にご招待します。

計時花



街のなかの文化

海の女王、キャンベラ号が白い優雅なたちを神戸港、第五突堤に見せた元町から大丸前、そしてト・アロード、センター街、といったショッピングストリートに外人の観光客があふれ

10人20人30人40人50人100人でも1部屋でできます

忘年会

幹事様へ

ご苦労様です

幹事さんノ

貴方の黒字も私の赤字も

三昧に合わせて

ほい、ほい、ほいノ

忘年会は

やっぱり

畳の上で……

◎料理はうまい

ねだんはやすい

サービスは良い

その上美人ぞろい

とんちゃん

美人

たやだや

美人

ぼんたん



美人

美人ぞろい

にやにや

うふふ

八ちゃん

ぼんたん

いん

ほいほい

お料理
一ばん

赤坂

赤坂名物

△吉野鍋 (若どり野菜盛り鍋)

△清盛焼 (神戸肉を焼いて野菜をたっぷり)

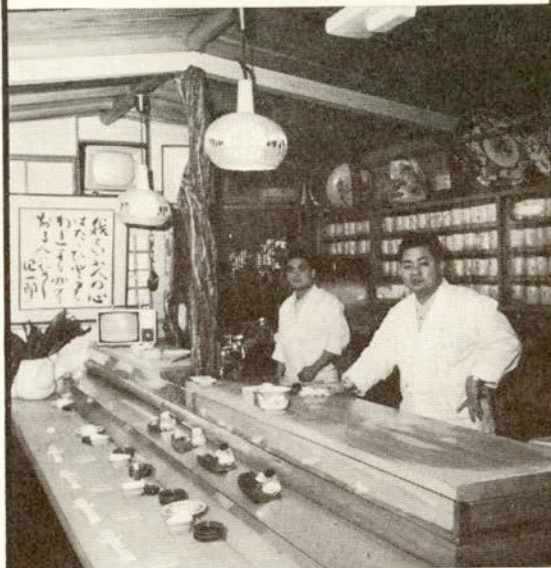
△蔵王鍋 (山海の珍味25種入荷)

お料理お酒一本つけて 1,200円より

神戸・中山手四 TEL. (2) 7836・7846

楽しい集いは赤坂で

新しい“味” リンゴ酢と蜂蜜で



半又鮎

神戸三宮生田ノ社ノ西

電話・三の宮 (33) 0935

非悪心童 物語

足立卷一
え・津高和一

最終回

ぼくたちは「悪童」ではなかった。
しかし「善童」でもなかった。

色彩風琴

前号まで 父は二六新報という新聞の同人であったが、ぼくの生後四カ月で急死。母は実家に帰り、祖父母に育てられる。小学一年生のとき、祖母も死に、祖父につれられて故郷長崎に引きあげたが、その祖父も急死し、孤児となる。親戚の寺や染物屋で養われていたが、急に神戸の母の実家へ引き取られ、そこから諏訪山小学校へ通うことになった。同級のトオルさんと友達になり、絵を描いたり、タルマツチをしたりして、毎日毎日遊んだ。中でも生田神社の森やおまつりは僕達の好奇心をおおたりたてた。また、阪妻に魅せられて場末の映画館をまわったり、覆面遊びをしたりしたのもこの頃である。このようにしてぼく達の旺盛な好奇心は、遊びや、遊び仲間を通して日毎に季節毎に新しい経験と知識を与えてくれる。

米田透の第一詩集「色彩風琴」が、やっとのことで出たのは昭和四十三年になってからである。「やっとのこと」というのは、ぼくたちがいくらすすめても、当人はどうしても出そうとはしなかったからである。

その年の正月、ぼくは広島から出てきた桑島玄二詩人と酒を飲んでみた。そのうち、米田詩人を襲いたくなった。桑島詩人も「襲撃ノ」と軍隊調の号令を放った。

あいにく家人はみんなるすであった。何か酒のサカナでも持っていこうと思ったが、見あたらぬ。冷蔵庫を引っ掻きまわしていたら、ワサビづけの残りが奥のほうにかくれている。それを新聞紙にくるんで出かけた。

四十年あまりむかしのトオルさんは、いまだでは宣伝会社の「開発部門担当取締役」である。

であるから、大橋六丁目の邸宅では当然特級酒が出た。ぼくと桑島詩人とはそれをガブ飲みした。与謝野晶子のような夫人は「結構なものを頂戴しまして」と、ぼくが持参したワサビづけを小皿にきれいに盛りつけて出した。

ぼくも箸でなめた。が、ピリッとどこか辛くも何もない。無味でカビくさいばかりだ。気がついた。あのワサビづけはいとこが新幹線の車中で買ってきたもので、半分喰って冷蔵庫に入れたまま忘れていたシロモノだ。

かれこれ一年近かつ。

見ると、詩人はそれをうまそうになめては、酒をふくんでいる。

「うまいか？」

「うまい。おれは好物でな、こいつが」

そういって、詩人はまたシロモノを口に運んだ。

そのとき、ぼくは夫人にむきなおっていったのである。

「かれが詩集を出さんののは、おくさんが出ささんからやとみんないうてまっせ」

そのとたん、夫人は「まあ——」と、美しい眉をフクチャンのようにかわいらしくくもらせた。夫人はいくら

か涙声になってほくにもらした。お金も用意してあるし、近く結婚することになっている娘さんまで貯金している一万円を供出しようといっているのに、本人が「お前らに詩のことがわかるか、」といって、どうしてもとりあわないのだそうである。

それが、ほどなく出すということになった。

「あのあと、女房と娘にヤラれてなあ」

と、詩人はそののち出会ったときに嘆いた。とにかくそうして詩集『色彩風琴』は世に出たのである。

『色彩風琴』の出版記念会は、その年の九月一日午後元町のコトブキ特別室で催された。それさえも詩人は辞退しつづけ、あげくは親しい最少の人たちで、ということをやっとひらかれたのである。集まったのは十七名というささやかな会合ではあったが、亜騎保、岡本甚一、



沼田清信、小林武雄、広田善緒、津高一、伊田耕三といった少年のころからのなかまはみんな顔をそろえたし、静かできつろいだ気分であった。

ほくは、司会役をかって出た。そして、この詩集が出るまでの経過、つまり正月に急襲したことも報告した。つきつぎにスピーチがおこなわれた。

竹中郁詩人が立ちあがった。

「東洋には『はじらい』という美しい精神の独特の伝統があります。著者はその美しい『はじらい』を持ちつづける詩人であります」

そのようなことを大声で、でも入れ歯が飛びださないと案じるような口の動かせかたで述べた。適評と感服した。すると、竹中詩人はコトバをついだ。

「それをおくさんのお尻を搔いて出させるというのはどうかと思えます」

ほくは思わず首をすくめた。

しかし、後悔したというわけではない。『色彩風琴』はどうしても社会に出さなければならぬ美しい詩集であると信じていたし、そのためにはどうしても美しい夫人のお尻をも搔かねばならなかったからである。

ほくは理科の問題で神戸三中の入学試験に落第し、関西学院中学部にかようようになったけれども、学校はさっぱりおもしろくなく、トオルさんや一鶴と会うのが一番のたのしみであった。

一鶴は貿易商社の給仕になり、夜学にかよっていたので、日曜にはたいいてい会うことができたが、トオルさんは絵具材料店の店員になっていたので、休みは一カ月に一度か二度かしかなかった。絵が好きだったのでそんな店を選んだらしいが、つとめてみると絵をかくことは何の関係もなく、トオルさんは自転車で絵具やクレオンを配達していた。

そのころ、トオルさんはどういうわけか、自動車に異常な興味をみせていた。まだ台数も少ない時代であった

が、どこで調べたのか車の種類をよく知っていて、たまに自動車がとおると、あれはフォードとかシボレーとか、立ちどころにいいあてた。

ぼくはといえば、投書の熱中が短歌に移り、歌集ばかり読んでいた。というのは、中学は何ひとつおもしろいことがなかったが、ほどなく石川乙馬という国漢教師を知ったからである。乙馬先生はアララギふうの短歌をよみ、自分でガリ版を切って『香菓』といううすっぺらな冊子を出していた。

ぼくは何かといえば、詠草をもって乙馬先生の家へたずねた。父のような人だと思った。先生のことには「やちまた」という作品に書いたので略するが、ぼくはトオルさんと一鶴とをその『香菓』のなかに引き入れた。

「なんや、和歌やて」

トオルさんも一鶴もはじめは気のすすまないようすであつたが、つくりはじめるとすぐに上達してぼくを追い



越した。

昭和六年十一月三十日発行の『香菓』第七号の「乙馬放言」と題する後記で、先生はこう書いていられる。

「足立、米田、吉田（一鶴）君の歌が非常に接近しつつある。技量がでない、目のつけどころおよび表現の技巧である。何故だろう、次号でよく研究しようと思う」

しかし、それは当然かもしれない。休みにはぼくたち三人は必ず集まり、短歌を作りあい、短歌のことはかり語るようになっていたのだから。そのとき、ぼくはもう十八歳、トオルさんと一鶴とは十七歳であった。

板駅の歩廊こよりあらはに見ゆ夜風に立てるあらはなる人ら

その号でトオルさんはそんな歌を出している。もう、ぼくのおよぶところではなかった。朝日新聞では毎年正月短歌を募集して発表していたが、その年トオルさんは一等で大きな活字で組まれ、坪田耕吉の選評で激賞された。ぼくの歌はビリのほうで、小さな活字であった。

そのち、ぼくが短歌から詩に移ると、トオルさんも一鶴も詩を作るようになり、そしてたちどころにぼくよりずつとつまい作品を示した。

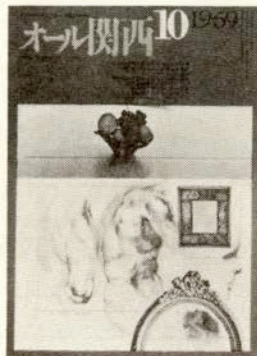
その日から、ずいぶん長い時間が流れてしまった。トオルさんも一鶴も何度か職場をかわり、三人とも恋をし、フラれ、自殺をゆめみて未遂に終わり、そのうち戦争になり、一鶴はビルマ戦線でゆくえを絶ったし、トオルさんは朝鮮へ渡ったり徴傭工になったり、ぼく自身も二度召集され、一度は全身に爆創を負ってほとんど死んでいた。そのあいだに「神戸詩人事件」というのもあった。それでもトオルさんもぼくも家庭を持ち、同じく三人の子の父となった。

戦後の生活もお互いにひどいものであった。トオルさんは看板屋になり、ついで進駐軍のサイン・ペインターとして大いに特技を発揮し、酒場へ貧乏神の主人となり、コピーライターとなり、それでもあげくは重役になった。ぼくはといえば、貧乏な雑文書きに落ちついてし

★関西の情報雑誌

オール関西

12月号予告



★特集阪急三番街

- ・インタビュー 阪急三番街と新しい街づくり 山口興一<阪急電鉄専務>
- ・阪急三番街アラカルト
- ・座談会 世界につながる阪急三番街

★万国博特集

- ・最後の追いこみにかける企業パビリオン
 - ・万国博各パビリオンホステス座談会
- 経済人対談 坂口二郎一原 喜平一森下 泰
好嵐対話/浅田敏章一高田好胤

★好評連載企画

- ・名作の中の関西・大谷晃一/画家との一時間・ボンソワール・マダム
- ・向井修二の仲間診断
- ・グループ登場
- ・上杉典子の中近東イラスト紀行

創作/ヤップ島ノート 松尾 亮

コラム/マスコミ探点簿・経済・科学・音楽・美術
万博の動き

関西のすべてをガイドするタウンカレンダー

ゴルフ・カー・麻雀競馬/神戸ショッピングガイド
神戸百貨会ガイド/ニューショップガイド

まった。

まあ、それもいい。

米田詩人の娘さんの結婚式には、ほくも岡本甚一詩人とともに招かれた。一席ぶった。

「新婦の父とは、小学校からの友だちです。したがって失礼ながらおくさんよりつきあいは長い。そこでいえることは、新婦の父は一度も悪いことをしなかったという一事です。保証します。その清潔な血が新婦には流れているのであります……」

そんなようなことをまくし立てた。岡本詩人が「うまいこといいよったな」とほめてくれたが、新婦の父は酌にまわってきていった。

「えらいこというてくれたな、おれかて、かあちゃんにいえんようなことを……」

なるほどと思った。ほくは女性には忌みきらわれるのに、米田詩人はすぐ女にはれられるのである。もっとも、ほくはすっかりハゲあたまになっていくというのに詩人は「青年」とアダ名され、少年のころのふかぶかとした二重まぶたの目はいまでも美しく、ふしぎに髪は一本のシラガもなく、にくたらしいほど漆黒房々としているからやむをえない。

そこで、ふと思うのだ。ほくがもし、理科の問題に失敗せず神戸三中に入学していたら、母の希望どおりに帝大へ進んで、いまごろは高級官僚か実業家になっているかもしれない。それが関西学院で乙馬先生を知ったばかりに文芸に熱中し、上級学校も乙馬先生が卒業した専門学校を選んだのである。理科の問題、乙馬先生がほくのそのちの人生をきめたといっている。しかし、ほくは少しも後悔してはいない。

トオルさんも、ほくと出会わなかったら、おそらく詩集「色彩風琴」は出していないだろうと思う。短歌にさえ接近してないにちがいない。くされ縁というものであろう。それだけに、ほくのようなトオルさんよりずっと詩のヘタクソな者が、二冊も詩集を出しているというのに、かれが「東洋のはにかみ」からかどうか知らないが、一冊も出さないというのは困るのである。

それで、竹中詩人のスピーチに首をカメのようにひっこめながら、四十年を越えるふたりの人生を内部で一瞬に通過させ、それから、満悦のひとり笑いを浮かべたのである。

(おわり)

ほんとうの非悪童物語はここから始まるのですが、それは構想を改めて別に書くことにします。長らくご退屈様でした。(筆者敬白)



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

元町4丁目 TEL ☎ 7290



Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

Kent shop
ケンキヤ

元町3 TEL <33> 3617

MEN'S SHOP
セゾユウ

選びぬかれた
プレタポルテ
オーダーシャツ
リゾートウエアーは
世界の名品を

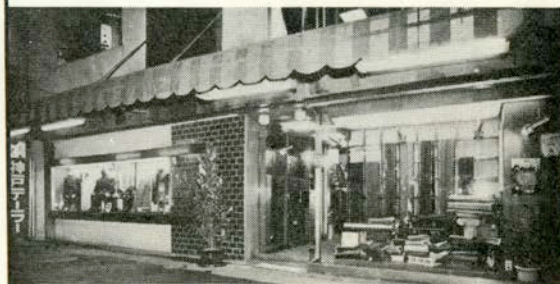
紳士洋品の店
千穂庵

元町店 TEL34-6959
メトロ店 TEL34-0550



高級紳士服専門店

神戸テーラー



さんちかメンズタウン TEL ☎ 0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL ☎ 2817・3173

アクセサリーの店

三毛が

神戸大丸前
TEL(39)9719



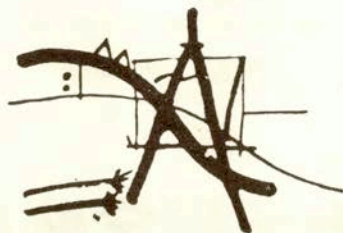
創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

神戸■元町
ACCESSORIES

イクシマヤ

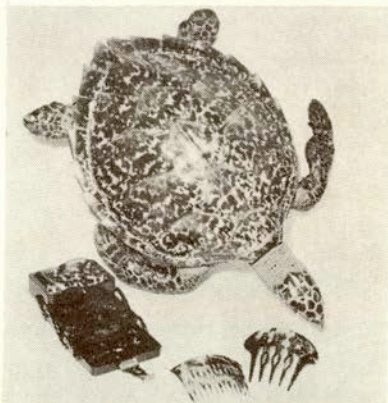
TEL. (33) 2415・2416

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
☎1309・6234



新装開店 太田 鼈甲店
センスあふれる
ベッ甲専門店 元町1丁目 TEL☎6195

オリジナル L サイズ

草履新発売

創業明治二十八年

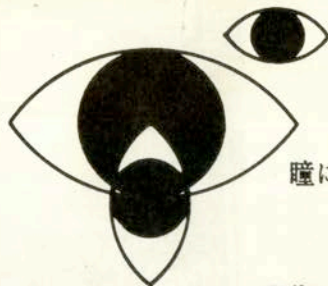
履物の山下

古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房

静かに品選びの出来る店

神戸三宮センター街 TEL (39) 0256



瞳に美しさを保つ

スポーツに

美容に

現代の科学が生んだ

コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市灘合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570

旅を楽しく
旅を手軽に...



大上靴店

*ハンドバッグの店

いなみ

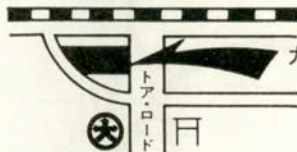
神戸元町店 ☎078 333962

神戸さんちか店 ☎078 394627

大阪 千日デパート1階

■インテリアデコレーション

合鍵と錠前



カギヤ
金物店

カギ屋金物店

KOBE 三宮・トア・ロード ☎ 0193・6507

OSAKA 心齋橋そごう地下一階

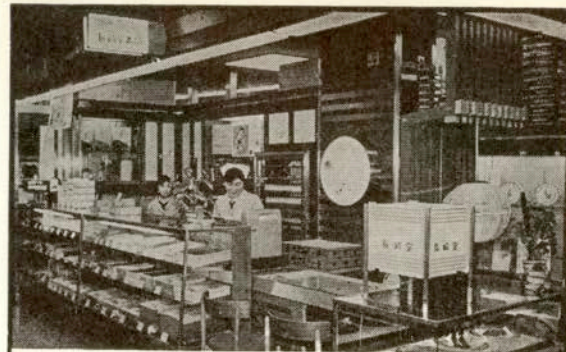
お歳暮に

のれんが育てた
神戸の味

瓦せんべい
クリームパティヨン

龜の井 龜井堂本家

神戸三宮 トーア ロード
電話 本店 33-0001
南店 33-1616
さんちかスイーツタウン
電話 33-6532



ご贈答に風味豊かなカステーラ

長崎堂本店

本店=大橋町5大五ビル(61)0553-4
新開地店=松竹座前(56)2423
元町店=元町6(34)4130
さんちかスイーツタウン(39)3625

The
Cosmopolitan
Valentine F. Morozoff

コスモポリタン
チョコレート・キャンデー

神戸本社 神戸市生田区三宮町1丁目 電話 33-5304
神戸直売店 神戸市生田区三宮町1丁目 電話 33-1217
大阪堺筋店 大阪市東区淡路町2丁目 電話231-6979
大阪心斎橋店 大阪市南区安堂寺橋通4丁目 電話251-4182
東京銀座店 東京都中央区銀座8丁目 電話571-2303
東京新宿店 東京都新宿区角筈1丁目
新宿ステーションビル地下2階 電話352-2436
東京国際ビル店 東京都丸の内 国際ビル 電話212-3746

神戸っ子のみんなに愛される落ちついた喫茶店



ai

喫茶 愛

TEA ROOM

★神戸・元町本通元一ビル2階 TEL (32) 0958

おすし
てんぷら

榮
彌



営業時間
A.M. 11.30~P.M. 9.

本店 大丸前・三宮神社東

TEL 33 5 5 7 7

5 6 7 7

(毎週水曜日休み)

支店 さんちか味ののれん街

TEL 39 5 2 3 3

やっばりうまい
むさしのとんかつ

とんかつ

コトニ宮
ムサシ

でんわ・
232333 13771
10634
06354



グラムール

生田筋・岸ビル地階 TEL 33-4637



スタンド 千里

東門筋東神ビル地階
TEL 33-4730

ヤッカチェーン




古きヨーロッパ Drink Stand
ムードの
石垣と
ステンドグラスの
ある店



らんらん
TEL (33) 9090
サンザンクレクレ

ヤッカチェーン
Snack and Drink




DOGA 白榆で囲まれた
ドガ 北欧ムード
TEL 33-4560 お二人づれの店



JAZZ BOX
Candy



神戸市生田区加納町3丁目2
TEL 33-3371



山の手 SNACK
YAMANOTE



神戸市生田区中山手1丁目
ソネビル TEL 22-3637